

□ 要請番号 (JL00617A03)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インドネシア	G116 シンクロ		個別	新規	2年	・ 2017/3 ・ 2017/4 ・ 2018/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

国家スポーツ委員会(青年スポーツ省)

2) 配属機関名 (日本語)

国家スポーツ委員会全水泳連盟ジャカルタ首都特別州支部

3) 任地 (ジャカルタ首都特別州) JICA事務所の所在地 (ジャカルタ首都特別州)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

青年スポーツ省は、青年教育(体育教育含む)を総括し、政策を策定・実施する機関であり、学校体育教育の充実、ジュニア選手層の拡充等、教育的側面から体育の振興を図っている。

配属先は、ジャカルタ首都特別州における水泳、水球、シンクロナイズドスイミング、飛び込みなど、全てのプール競技の選手育成や大会開催を担う組織であり、地方、国家、国際レベルの大会も開催している。

シンクロナイズドスイミングに関しては、ジャカルタにある5つのクラブチームは全て配属先に属しており、各クラブの代表的な選手計25名で「ジャカルタ・チーム」を形成し、強化練習を行っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先では、1997年度1次隊の同職種JVが短期間指導した実績があり、その結果、当時、指導を受けた選手たちの競技レベルは飛躍的に向上した。現在は、更なるレベルアップを目指し、東南アジア競技大会(通称 Sea Games)やアジア競技大会(通称 Asian Games)、インドネシア国体等はもちろんのこと、2020年に開催される東京オリンピックに参加できる選手の育成を視野に入れた練習を行っている。

JVの派遣により、指導陣の更なるレベルアップを図り、コーチ人材の育成が急務となっているため、本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 選手たちのレベルアップに向けたプログラムの策定
- ジャカルタチームの選手たちに対するメンタル面強化も含めた直接指導
- コーチに対するコーチング法の指導

※ JVはコーチとして選手を指導するが、選手達と一緒に体を動かしながら、指導の出来る人材が望まれている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

各種トレーニング機材、音楽再生用機材、水中スピーカー、ビデオカメラ、モニター

4) 配属先同僚及び活動対象者

【専属コーチ】

元ナショナルチーム代表選手(45歳/女性)

元ナショナルチーム代表選手(31歳/女性)、その他女性3名(30代)

【活動対象者】

8歳の初心者から22歳の国体上位入賞レベルの選手まで幅広い。

ジュニアレベル:25名、シニアレベル:5名

5) 活動使用言語

インドネシア語

6) 生活使用言語

インドネシア語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[性別]：（女性） 備考：女性向け指導となるため

[学歴]：（大卒） 備考：同僚と同等の学歴が求められるため

[経験]：（ ） 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

インドネシア側の査証手続きの問題により、他の国の同じ隊次より赴任時期が遅れる。